

<第4595回>

目的地：如意越えの道(近江～東山)

担当者：白神

実施日：2025年4月27日(日)

形式：ハイキング

費用：¥1560(京阪京橋駅発着) ¥600 三井寺拝観料

参加者：8名

天気：晴れ

行程：

三井寺駅(9:00)→(9:20)三井寺[参拝](10:20)→坊越峠(11:10)→(11:30)長等山[昼食](12:00)→
(13:05)如意ヶ岳→(13:45)大文字山(13:55)→(14:20)楼門の滝(14:30)→(15:00)
霊鑑寺→[哲学の道経由](15:35)蹴上駅[解散]

感想：

まずは如意越えの道の近江側の起点である三井寺に参拝。拝観料600円を払ってお堂を巡って行きます。京都のメジャーなお寺と違って、インバウンドの方もほとんど見かけず、静かな参拝が出来ます。三井の晩鐘として知られる鐘の音も聴くことが出来ました。

境内を横切って登山道に入って、しばらく行くと坊越峠。ここからしばらく長等山の先までは1月の逢坂山・長等山例会で歩いた道。長等山山頂では、1月に来た時と同じように琵琶湖が見えましたが、新緑が眩しく、少々印象が違いました。

如意ヶ岳の手前で、如意ヶ岳山頂にある航空保安施設の取り付け道路に出ます。ここからは、琵琶湖方面と山科盆地を同じ視野に収めることができます。航空保安施設を巻いて大文字山に向かう道、大文字山が近づくと徐々にすれ違う人が増えてきます。大文字山山頂で見慣れた京都市内を見た後は、火床へは向かわず、少し引き返して鹿ヶ谷へ下るルートを選択しました。哲学の道を経由して南禅寺・蹴上に至る道も思ったより人でごった返してなく、比較的スムーズに歩けました。

京都から近江に抜ける道は沢山あると思いますが、いろんなルートを歩いてそれぞれの違いを楽しむのもいいですね。